

信州大学松本キャンパス中央図書館



「知の森」づくり

既設図書館の耐震改修・機能改修工事に引き続き、I期増築として24時間利用可能な学習スペースを既設図書館南側に増築した計画である。「知の継承」と「新しい知の創造」の拠点となる信州「知の森」づくりをめざすキャンパスマスタープランの基に、「知の森」をイメージコンセプトとしてかがげ、増改築を行った。将来的には建物周囲の保存した木々に図書館自体が更に包まれ、「知の森」の一部として大学の自然に溶け込むことをめざした。

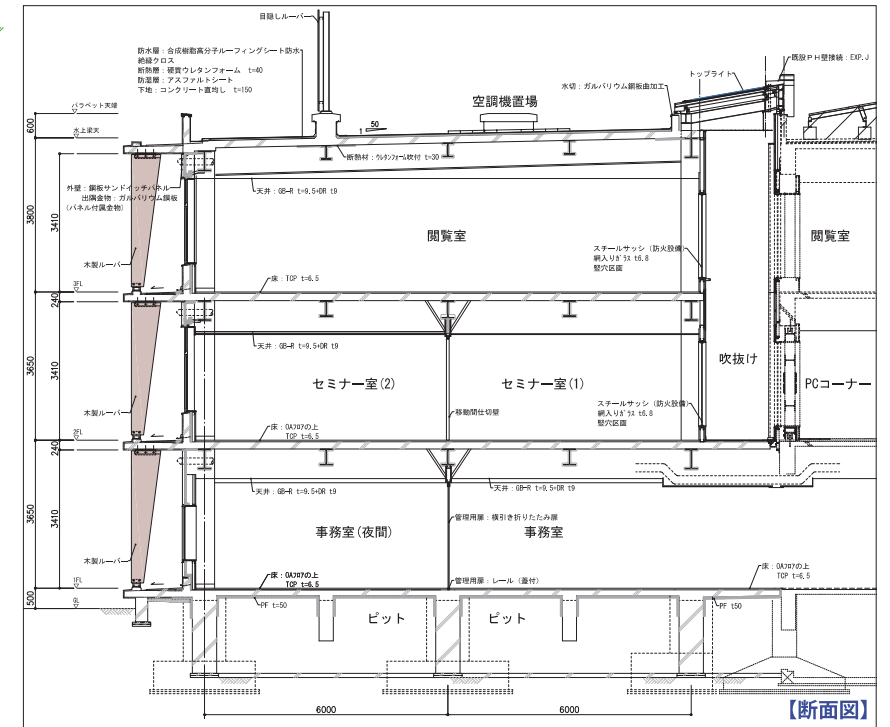
外周ファサードには、建物全体を覆う形で木製ルーバーを用いた。上部を閉じた逆台形型とすることで、上部の直射を適切に制御すると共に、下部を開放することで木立の間からアクティビティが垣間見え、軽快なリズムを生み出している。また木製ルーバーの間隔や角度を調整することで、前面の桜並木や遠くの山並みなど使い勝手や場に応じた風景を切り取り、視線を制御している。建物全体としては、本を連想させる「知の集積拠点」として親しみやすいキャンパスの顔を目指している。

木製ルーバー自体は全て長野県産の杉材を水蒸気式熱処理加工して使用し、信州の風土に根付かせている。この計画により、大学・森林組合・木材メーカーとの間で連携協定が結ばれることにもなり、大学の研究からキャンパス整備まで幅広く木材が使用されるきっかけにもなった。森林組合・木材メーカーの協力のもと、今後も継続してメンテナンスをする運びにもなっている。

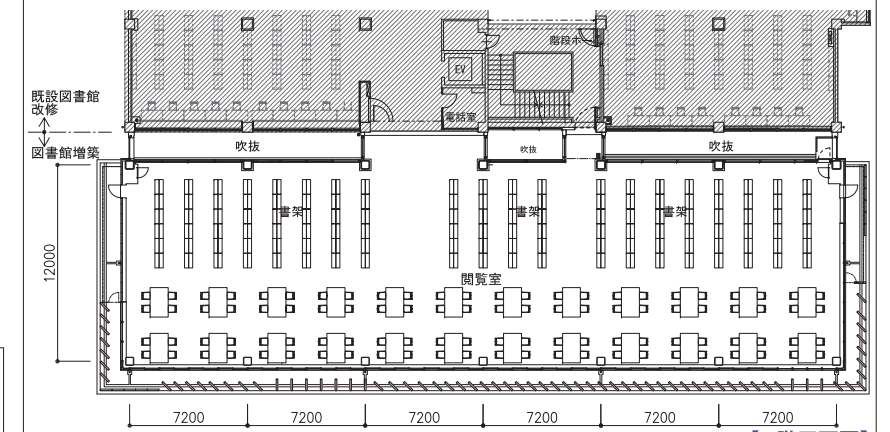


【施設概要】

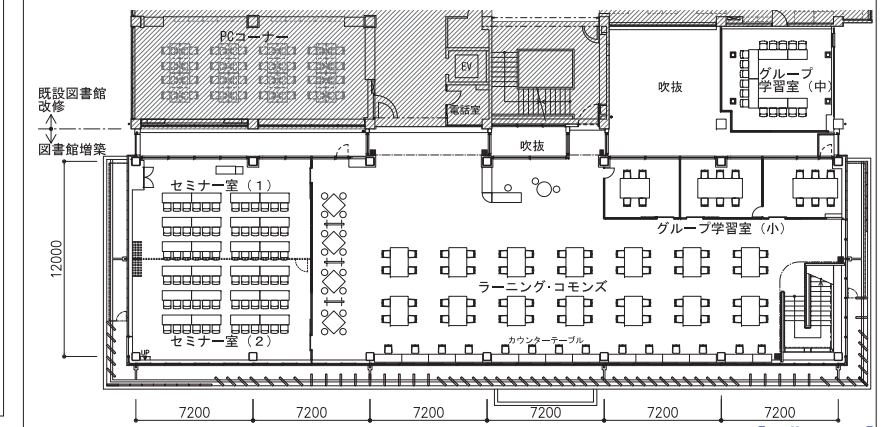
敷地面積：218,738 m²
 建築面積：2,318 m²（増築：843 m² 改修：1,475 m²）
 延べ面積：6,380 m²（増築：1,927 m² 改修：4,453 m²）
 構造規模：S造、RC造 地上3階



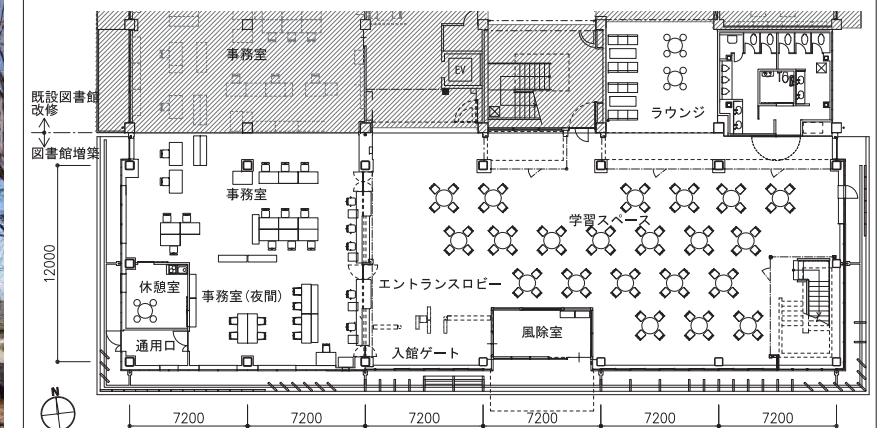
【断面図】



【3階平面図】



【2階平面図】



【1階平面図】



【施設内容】

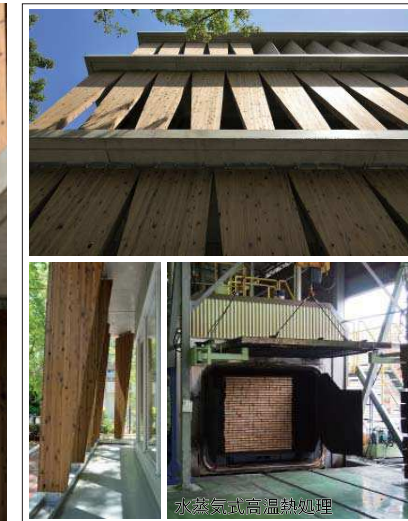
- 1階：事務室、学習スペース、
- 2階：ラーニング・commons、
- セミナー室、グループ学習室
- 3階：閲覧室

建物内部は、1階の開放的な地域交流コーナーや学習スペースから3階の静かな学習環境へと「上に行くほど静かな空間」というゾーニングとし、各階の利用目的にあった空間を確保している。

知の森を窺う1階から、遠く信州の山並みを望む3階へと段階的に周辺との繋がりを深め、建物一体で環境マインドの醸成を図っている。



【南西外観】
増改築部分に木製ルーバーを配す



水蒸気式高温熱処理

【木ルーバーの加工】

屋外使用の木製ルーバーの耐候性に関して、経年劣化により腐れや割れ、反りなどを生じる心配に配慮し、耐久性や寸法安定性の向上を図るため、長野県産材小割板（厚さ38mm）を水蒸気式高温熱処理後、レゾルシノールで接着して集成材を作成した。W1100×H3270×t100mmの大きな長方形の板を作成後、工場にて斜めカットしているため、台形でありながらロスなく制作している。現場にてオイルステインで保護塗装を行った。膜を素材に木目が残る塗料のため木材の質感を残したままでの仕上りとなっている。



【西面外観】
西門からのキャンパス主要動線のシーケンスを連続したリズム感のあるファサード



【南面外観】
本を連想させる「知の集積拠点」として親しみやすいファサード、エントランス



【南東面外観】
東側の学生食堂前広場や山々への眺望に配慮し視線を制御したルーバー配座